



# 決算特別委員会

21日の本会議では、2つの決算特別委員会の委員長が審査の経過と結果を報告しました。その内容の一部を掲載します。

## 一般・特別会計 決算特別委員会



29年度富山市一般会計歳入歳出決算、29年度富山市公債管理特別会計歳入歳出決算など17件については、いずれも「認定」した。

### 選挙啓発費

**委員** 投票率の低下や、18歳選挙権など、選挙を取り巻く環境が変化する中、今後、主権者教育がますます重要になってくることから、選挙啓発のより一層の充実に努められたい。

### 小児生活習慣病予防対策事業

**委員** すこやか検診の結果、要医療や経過観察などの判定を受けた児童生徒を対象に行われる、すこやか教室の受講者数および受講率の向上に努めるとともに、児童生徒の生活習慣病予防については、教育委員会全体でしっかりと取り組んでいただきたい。

### 富山市博物館等共通パスポート

**委員** 対象となる施設に、民間美術館や富山県美術館などの6館を追加し、文化施設の利用促進に努めたとのことだが、共通パスポートの利用者数等は、あまり増加していないようなので、情報周知をより一層図るとともに、利用者の意見を調査するなど、さらに多くの人に楽しんでもらうよう努められたい。



富山市博物館等共通パスポート（ポスターの一部）

### 市債権の一元化による回収整理対策

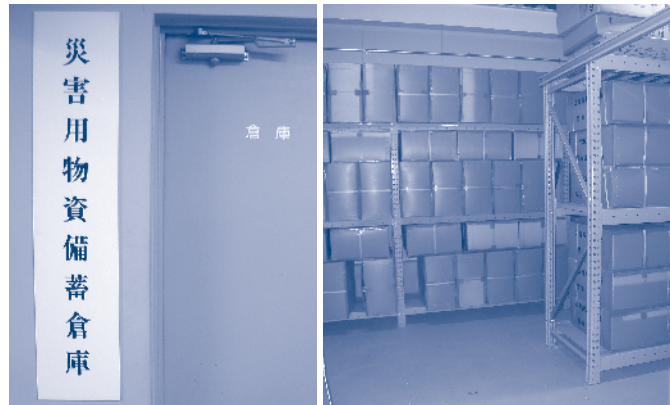
**委員** 部局間の連携を強化し、全市一体となって債権の回収・整理に努めることはもとより、本市の市税の収入率は、他の中核市と比べるとまだ低いことから、収入率の高い他都市の事例などを参考に、さらなる向上に努められたい。

### 放置自転車対策事業

**委員** 毎年多額の経費をかけて巡回指導や撤去等の対策事業を行っているが、放置自転車の数は依然として多く、自転車を含め、物を大事にするという意識の醸成について、一層の啓発に努められたい。

### 災害用備蓄物資の充実強化

**委員** 29年度より、本市の備蓄目標数を1日分から3日分へと拡充し、備蓄を進めているとのことだが、総合計画で目標としている33年度までに備蓄物資の整備率を100%とするため、しっかりと備蓄を進め、災害への備えの充実強化に努められたい。



災害用物資備蓄倉庫

## 企業会計 決算特別委員会



29年度富山市水道事業会計決算、29年度富山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分の件など7件については、いずれも「認定」、原案のとおり「可決」した。

### 病院事業会計

**委員** 市民病院の特徴や魅力の情報発信に関して、市内には市民病院以外にも大きな病院がいくつもあるため、市民病院の得意分野や、医療技術に対するPRを積極的に努められたい。



富山市民病院

### 水道事業会計、工業用水道事業会計、公共下水道事業会計

**委員** 水道料金に関して、収納率を高めるため、状況に応じて、さまざまな取り組みを行っているが、今後とも、債権管理対策課等と連携を取りながら、さらなる収納率の向上に努められたい。